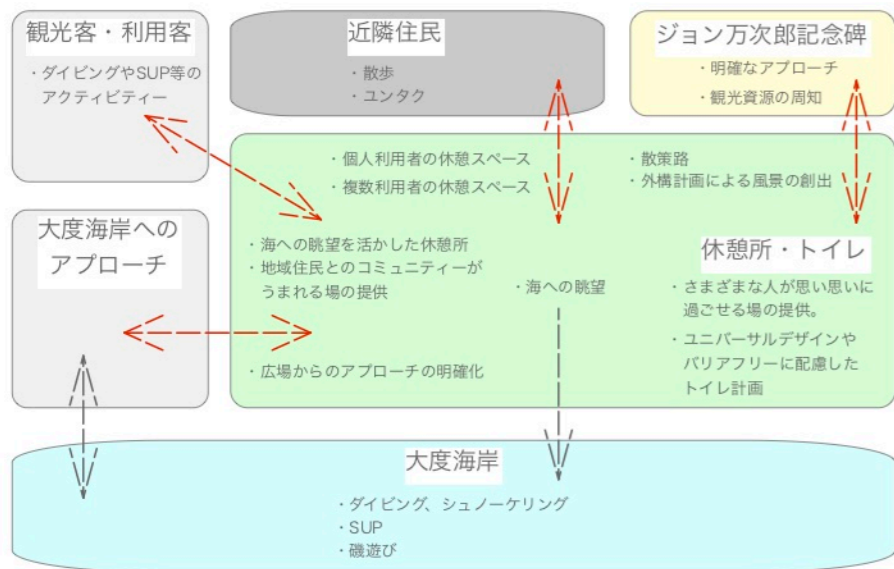


「路」に集う



□ 敷地の関係性について

本計画は、周辺環境との関係性を創り出し、それぞれを「つなげる」。これまで以上の、利用形態を創出する計画とします。

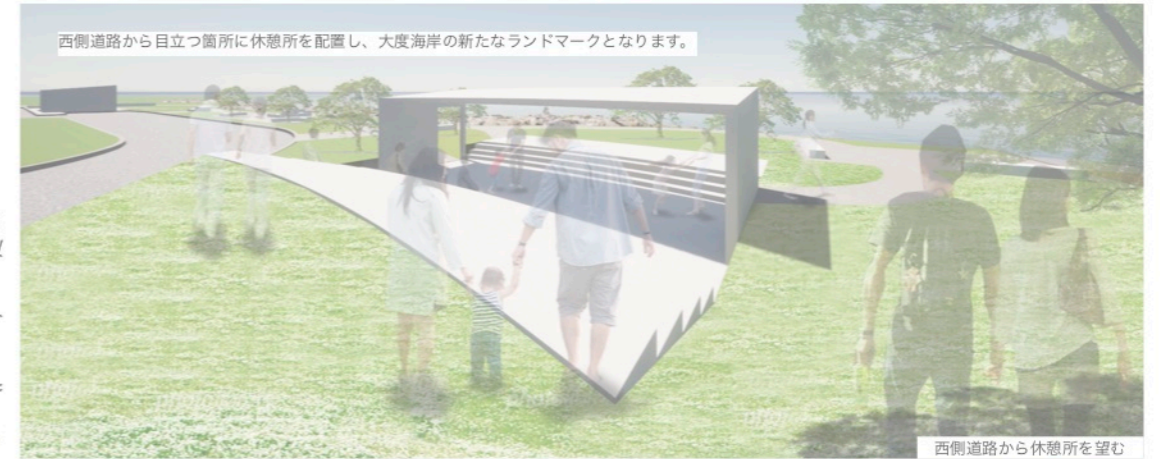
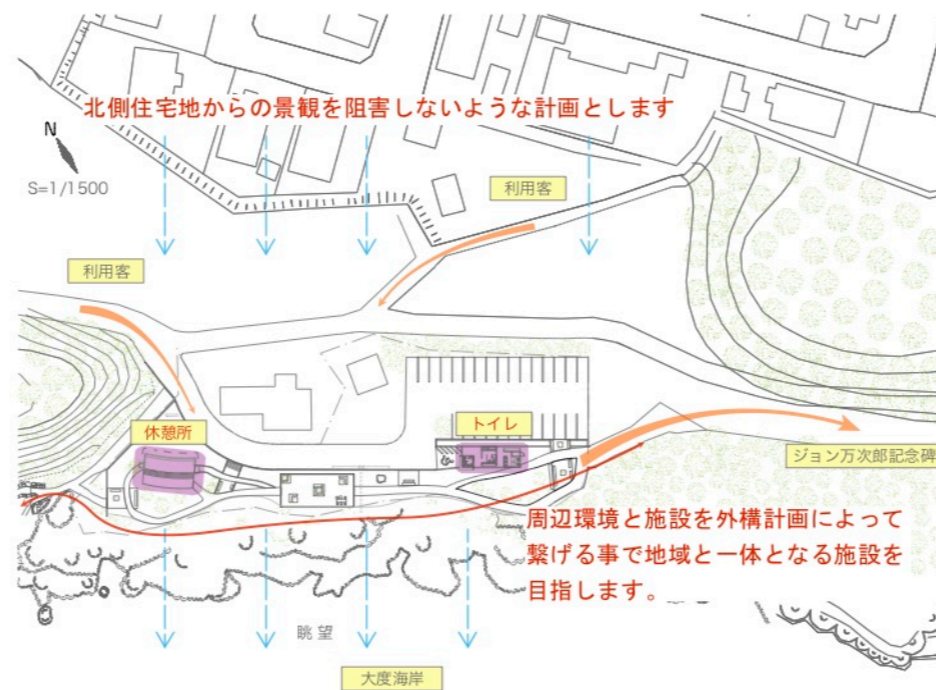


本計画は、次の事を設計趣旨とします。

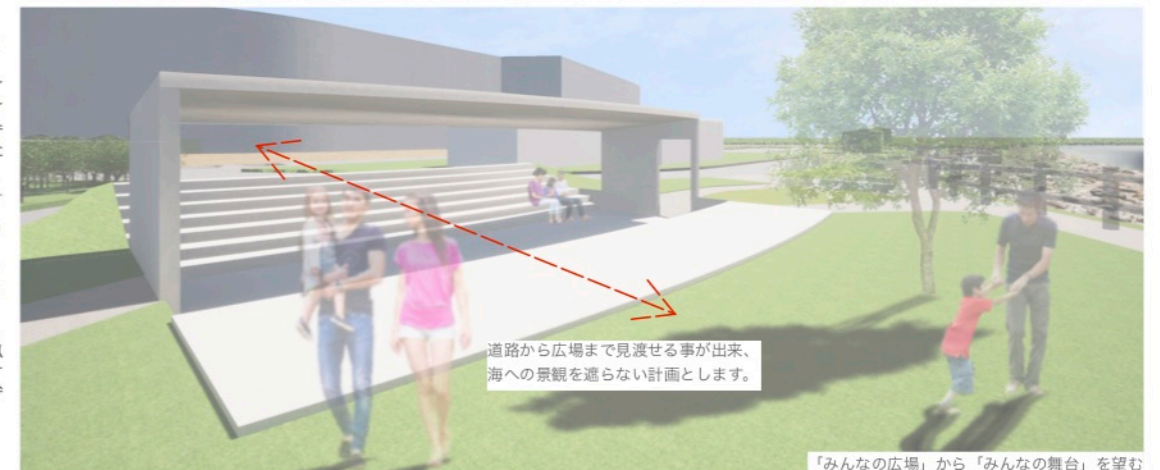
- ・大度海岸一帯 → 周辺施設や近隣住民とのつながりの創出
- ・敷地内 → 個人でも、多数でも思い思いに過ごせる場所の提供
- ・休憩所、トイレ → バリアフリーに配慮し、誰もが使いやすい施設

□ 配置計画について

施設を敷地形状に合わせて東西にトイレ・休憩所を離して配置。それに挟まれた空地を外構計画によりそれぞれを繋げ、一体感のある計画とします。

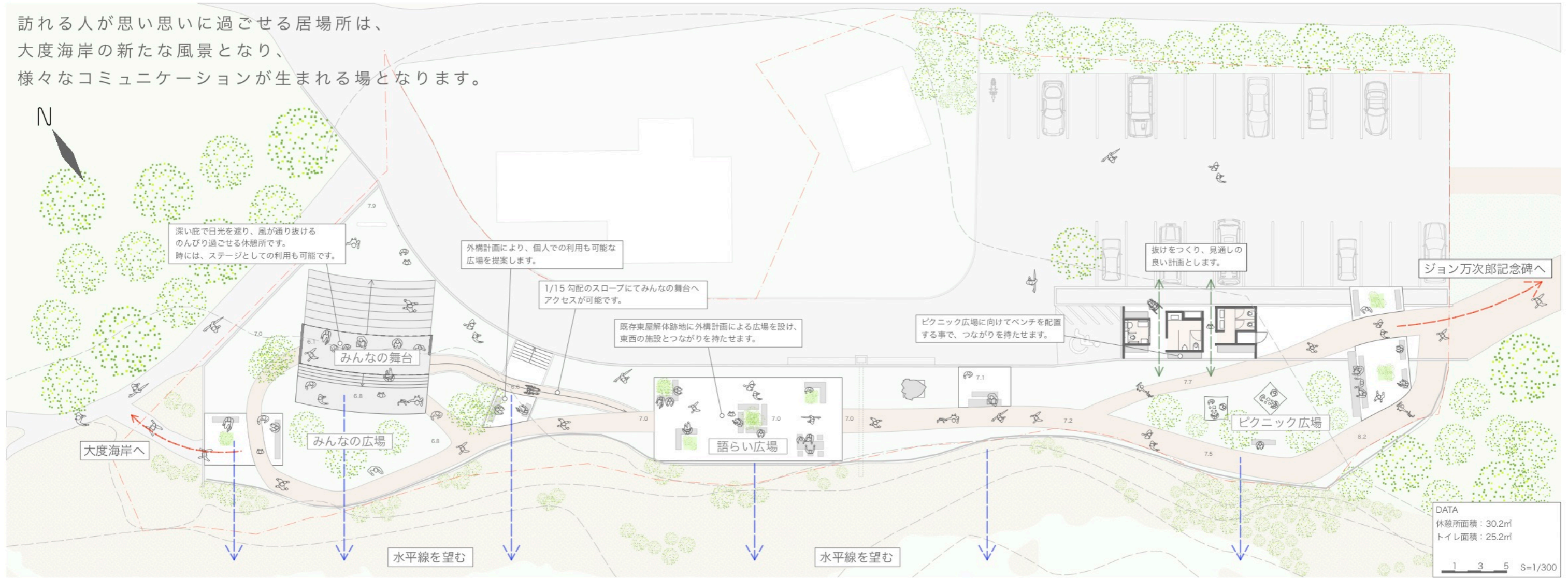


西側道路から休憩所を望む



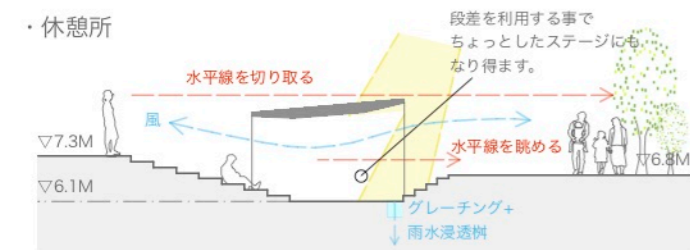
「みんなの広場」から「みんなの舞台」を望む

訪れる人が思い思いに過ごせる居場所は、大度海岸の新たな風景となり、様々なコミュニケーションが生まれる場となります。



各施設計画について

・休憩所



東側の道路から水平線を切り取るように屋根の高さを調整、敷地傾斜を利用し床を彫り込んだ休憩所は、風が流れ、強い日射しを遮ります。座った際の視線から東シナ海の水平線を眺められる計画とします。

・トイレ

上部と下部にガラリを設置し暖かい空気が引込まれる形で重力換気を行います。



・ユニバーサルデザインへの配慮

ピクトサインにより誰にでも使いやすいトイレとします。身障者駐車場に、多目的トイレを隣接させ利用しやすい計画とします。

・維持管理への配慮

節水型器具の使用や、LED照明器具を採用しランニングコストへ配慮します。グレーチングとタイマー給水による自動汚垂れ洗浄により、床に付着した臭いの低減を図ります。

・安心、安全への配慮

駐車場や、ピクニック広場からの死角を作らない導線計画としながらも、トイレ内部が見えづらくプライバシーに配慮した計画とします。

